

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

情 報 局 編 輯

週 報

六 月 三 日 號

臨時議會と日本の進路
 冀中、冀南、浙東作戦
 大東亞戦と計畫造船
 インドの動き
 國民動員計畫について

295 號

昭和十七年十月一日第三種郵便物認可
昭和十七年六月三日發

五 錢

週

報

昭和十七年十月一日第三種郵便物認可
昭和十七年五月二十七日發

（毎週一回水曜日發行）

内閣印刷局印刷發行

週 報 は 民 衆 贊 成 の 道 へ

郵便貯金 突破四億百

創始以來の結晶



貯めよう！
勝たう！

（判LA51格規定國はさき大の書本）

露光量違いにより重複撮影

国民合唱 今年の燕

安藤一郎作詞
弘田龍太郎作曲

[M.M. ♩ = 112]
2/4 四拍子(歌唱)

三三三三
三三三三
三三三三
三三三三
三三三三

今年の燕
安藤一郎作詞

(一) 今年も村へやつて来た
燕に一寸訊きたいな
南の海に堂々と
白波蹴立って進みゆく
正しく強い日本の
軍艦一杯見たらうと

(二) 今年も街に飛び込んで
燕に一寸訊きたいな
雨の空に響くと
銀の雨雲が
正しく強い日本の
飛行機山見たらうと

(三) 今年も軒に啼いてるも
燕に一寸訊きたいな
南の島に駐ると
紅い日の丸を
正しく強い日本の
兵隊さんを見たらうと

週報

第二九五號
六月三日

臨時議會と日本の進路……………二
戦時下の計畫造船……………海務院……………九
昭和十七年度の
國民動員計畫について……………企畫院……………四
穀米の價格が改正されました……………農林省穀米局……………三

インドの動き……………大本營陸軍報道部……………六
冀中、冀南、浙東作戦……………大本營陸軍報道部……………六
南方の陸軍綜合戦果……………元
開戦以來の海軍綜合戦果……………三
大東亞戦争日誌……………三
通風塔……………三

週 間 日 誌

五月二十日(金)
五月十五日以來、浙東作戦を
展開中の旨、中支軍發表
▼第八十回帝國議會に提案の法
律案、豫算案を閣議で決定
五月二十一日(土)
▼全國金融統制會の創立總會及
び發會式を舉行
▼江北に臺灣憲兵隊司令部を設
置
五月二十五日(月)
▼第八十回帝國議會召集
▼衆議院議長に岡田忠彦氏、副
議長に内ヶ崎作三郎氏當選
五月二十六日(火)
▼高松宮宣仁親王殿下、御渡痛
の途につかせらる
▼第八十回帝國議會成立
▼開戦以來五月二十日までの海
軍綜合戦果を大本營發表
▼昭和十七年度國民動員實施計
画を閣議で決定
五月二十七日(水)海軍記念日
▼天皇陛下、第八十回帝國議會
開院式に幸あらせらる
▼訪日特派大使として移民館長
一行近く來訪の旨、外務省發表
▼舊法幣を中央儲備銀行券と二
對一で交換を許可し、また中
央、中國農民銀行を閉鎖し、中
國、交通銀行を改組の旨、國民
政府布告
▼泰國軍、日泰共同作戦を開
始、二十六日ケンタンを占領の
旨發表
五月二十八日(木)
▼高松宮宣仁親王殿下、新京に
御安宿、滿洲國に對し御言葉
賜ふ
▼第八十回帝國議會の議事完了
▼中支軍部隊、金華城を完全占
領
—大東亞戦争日誌参照—

國民合唱 今年の燕

安藤一郎 作詞
弘田龍太郎 作曲

(M.M. ♩=112)

mp 独唱(氣樂ニ)

mf 二部合唱(空々)

mp [氣樂ニ、アツキト、ソレヲ見ケズニ]

今年の燕 安藤一郎作詞

(一) 今年も村へやつて来た
燕に一寸訊きたいな
南の海に堂々と
白波蹴立て進みゆく
正しく強い日本の
軍艦一杯見たらうと

(二) 今年も街に飛び通ふ
燕に一寸訊きたいな
南の空に燦々と
銀の兩翼輝かず
正しく強い日本の
飛行機澤山見たらうと

(三) 今年も軒に啼いてある
燕に一寸訊きたいな
南の島に點々と
紅い日の丸頼へす
正しく強い日本の
兵隊さん見たらうと

今週も来週、大木上曜日午後七時半より放送

露光量違いにより重複撮影

週報

第二九五號
六月五日

臨時議會と日本の進路
臨時下の計畫造船 海務院
昭和十七年度の
國民動員計畫について 企画院
煤炭の價格が改正されました
農林省農務局
インドの動き
莫中、莫南、浙東作戦 大本營陸軍報道部
南方の陸軍総合戦果
開戦以來の海軍総合戦果
大東亞戰爭日誌
通風塔

週日誌

五月十五日(金)
五月十五日以來、浙東作戦を展開中の旨、中支軍發表
▼第八十回帝國議會に提案の法律案、豫算案が閣議で決定
五月十七日(土)
▼全國金融統制會の創立總會及び發會式を舉行
▼臺北に臺灣總兵隊司令部を改置
五月十八日(日)
▼第八十回帝國議會召集
▼衆議院議長に岡田忠彦氏、副議長に内ヶ崎作三郎氏當選
五月十八日(日)
▼高松宮宣仁親王殿下、御渡瀆の途につかせらる
▼第八十回帝國議會成立
▼開戦以來五月二十日までの海軍総合戦果を大本營發表
▼昭和十七年度國民動員實施計画
五月二十日(水)
▼高松宮宣仁親王殿下、新京に御渡瀆、滿洲國に對し御言葉を賜ふ
▼第八十回帝國議會の議事完了
▼中支軍部隊、金城を完全占領
▼大東亞戰爭日誌完結

書を閣議で決定
五月十七日(金)海軍省
▼天皇陛下、第八十回帝國議會開院式に御幸あらせらる
▼訪日特派大使として裕民議員一行近來訪の旨、外務省發表
▼新法幣を中央儲備銀行券と對して交換を許可し、また中央、交通銀行を改組の旨、國民政府布告
▼泰國軍、日泰共同作戦を開始、二十六日ケンタンを占領の旨發表
五月二十八日(木)
▼高松宮宣仁親王殿下、新京に御渡瀆、滿洲國に對し御言葉を賜ふ



臨時議會と日本の進路

總選挙後初の議會たる第八十回帝國議會は、五月二十五日召集され、計畫造船の實施確保に關する法律案二件、これに伴ふ追加豫算案二件が成立したが、今度の臨時議會は舉國的な政治力の結集體である翼賛政治會誕生後最初の議會であり、大東亞戰完遂の舉國一致の決意を中外に示したことで、大東亞戰の現段階に處する政府の所信を明らかにした點に、大きな意義をもつてゐる。

こゝに東條内閣總理大臣以下の議會演説を基礎に、大東亞戰爭に處する帝國の方針、政府の方策を説明することにしよう。

國內態勢の整備強化

大東亞戰爭が勃發して未だ半年も経たないのに、大東亞の重要な地域は悉く皇軍の占領するところとなり、米英の海上勢力は太平洋、インド洋の兩洋から驅逐され、戰勝御嘉尚の勅語を拜すること實に八回に及んでゐる。かくの如く國威を世界に宣揚したことは、誠に前古未有のことであるが、この外征の偉業に對應して、國內防衛の備へもいよいよ強化されてゐる。一億國民の義勇奉公の精神は日と共に昂揚され、飽くまで大東亞戰爭を戦ひ抜く不撓不屈の決意が、實質剛健な實生活の上に具現されつゝあることは、誠に感激に堪へない。

しかし現在のこの有利な態勢も、勝利の端緒を開き得たといふに過ぎないのであつて、勝敗の決が今後の總力戰の如何に懸つてゐることは改めていふまでもない。世界制覇を夢見る米英兩國の勢力を根柢から崩壊させるまでは、絶対に正義の戈を收めぬことは、宣戰の大詔を拜し奉つた開戰の當初から、終始一貫して渝らぬ一億同胞の半平たる決意であり、不動の信念であると確信する。

戰爭指導の要諦 従つて今日における戰爭指導の要諦は世界の驚異の的となつてゐる陸海共同作戰の妙をますます發揮して、飽くまでも敵を棄めてこれを撃滅し、緒戦の戦果をいよいよ擴大すると同時に、豪壯なこの積極作戰に呼應して雄大な建設を實行し、國家總力の飛躍的な向上を圖つて、たとひ百年の長期戦とならうともこれを戦ひ抜くに見る必勝の態勢を強化することにある。大東亞戰爭の眞只中に敢へて總選挙の施行を奏請したのも、このためである。

翼賛政治會の創立 今度の總選挙を契機として、大東亞戰爭完遂、翼賛政治體制確立を目指す氣運は、國民の盛り上る熱意によつて澎湃と全國の津々浦々に漲つた。この全國民の眞底からの、政治的意欲は、遂に結晶して翼賛政治會の創立となり、全國民の多年の願望である新らし

く逞しい政治力の結集をみるに至つたのである。

翼賛會の機能刷新 一方この澎湃たる國民の熱意に應へて、政府は、各種の國民運動は出来るだけ眞剣な國民の自發的運動に委せ、その健全な發達を期待するために、これらの運動はすべて大政翼賛會の傘下に集めることにし、大政翼賛會は擴充された使命に應じてその機能を刷新し、意氣を新たにして萬民翼賛、巨道實踐の國民運動の中核體として、一路邁進することとなつてゐる。

政府はこれに應じて行政各廳の事務を出来るだけ簡素強力なものとし、剩つた人員は大東亞に活躍する人の充實に振り向けようとしてゐるのである。

日本の戰爭經濟力

かくて今や、一億總進軍の國內態勢は成り、官民一體米英撃滅のため邁進し得る完璧の陣容が整へられたのである。

米英依存脱却 日本の經濟力について、この際特に一言しておきたいことは、元來、日本の經濟は米英依存の傾向が強く、そのために常に米英から錨肘と脅威を受けてゐたことである。この點に省みて政府は、支那事變勃發以來このやうな經濟的弱點を補正し、重要國防物資の自給確立



に邁進し、一方では支那事變を戦ひながら、一方では四ヶ年計畫を樹て國防上、絕對必要な物資の増強に努めて来た。その結果、大東亞戦争開始直前には、既に、米英の壓迫に對して敢へて大東亞戦争を斷行し得る經濟力を確立するに至つたのである。

自給生産の基礎確立 この經濟力の強化は一億國民の粒々辛苦の結晶であるが、大東亞戦争の赫々たる戦果によつて更に、南方における石油、ゴム、錫、その他の重要國防資源を悉く我が手に收めた結果、日本經濟の自主、自給性はますます強靱なものとなつたのである。即ち日滿支の物資と南方の物資とを合せると、自給生産の基礎は完全に確立され、我が國の戰時經濟は武力戦に伴ふ消耗を完全に補充し得ると同時に、今後の戦力擴充を確平たる基礎の上に置くやうになつたのであつて、帝國經濟の前途は實に洋々たるものがあるのである。

進捗する南方建設 既に南方の經濟建設は陸海軍軍政の下に、中央現地ともに緊密に協力し、作戦の進展と共に豫定の如く進捗してゐる。重要産業施設は一般に相當の破壊を受けてゐたが、その復舊は順調に進み、陸軍關係に見ても、今年度豫期してゐた重要物資は概ね取得し得る見込みである。石油も、本年度中には開戦當初豫期してゐた原

油取得量の約十倍に達することがほぼ確實となつた。そして南方占領地から内地への物資輸送に關しては、軍の徴備船を全幅的に活用し、陸軍の徴備船が四月末日までに南方地域から輸送したものは、米を主としてすでに約七十万吨に達し、今後においても極力輸送に努力をかけるが、物資の供給が増加することはなほ速かに期待できない。

本年度の物動計畫 かゝる南方の事情を考慮し、更に支那、滿洲を含めて、大東亞全域の綜合經濟力を遺憾なく發揮し、戦争遂行力を急速に増強することを主眼として、政府は本年度の物資動員計畫と生産力擴充計畫を定め、これを中核として輸送、勞務、交易、及び資金等に關する諸計畫を策定してゐるのである。

國民生活の安定確保 國民生活の安定の確保、特に食糧の確保は、總力戦の遂行に必要不可欠なもので、本年度から新たに獨立して生活必需品に關する物資動員計畫を樹立することになつた。その遂行については陸海軍からも特別の協力を受けてゐるが、國民生活の安定確保が緊要であるといふ國家總力戦の本質に鑑みて、大東亞全域の物資を活用し、大東亞各地の住民の民度を彼此考へ合せた上、生活必需物資の確保に萬全を期しようといふのである。

もちろん戰時經濟の本質上、局部的或ひは短期的に見れば不足、不便のあることは已むを得ないが、大局的に見れば今後どんな長期戦になつても、國民生活の上には斷じて不安はないと聲明し得るのである。

財政經濟の現状と金融政策

大東亞戦争開始以來、支那事變中に比較して我が國の財政は飛躍的に膨脹し、事變前に比較すれば實に十數倍の規模に擴大された。しかし相次いで大増税を行つたにも拘はらず、租税は遺憾なく納付され、激増した國債も圓滑に消化されて、拵ぎのない戦後財政の力強さを示してゐる。

金融界は、資金の撤布と資金の需要が著しく増大したにも拘はらず、その還流や蓄積、配分が順調に行はれ、一般物價や株價も動搖なく、金利も全く安定してゐる。

貯蓄増加の現況 戦時金融政策の要諦は、國家の必要とする資金は必ず調達するといふことが第一で、しかもその調達に通貨の増發によらず、専ら國民貯蓄の増強に俟つことにある。大東亞戦争開始後の貯蓄増加の勢ひは素晴らしいもので、昨年十二月から本年三月までの四ヶ月間の増加額は約六十八億三千万圓である。これは前年同期に比

して約二十七億六千万圓、六割八分の激増で、大東亞戦争を完遂せんとする熱意に燃ゆる國民の貯蓄報國の誠を示すものとして、まことに心強い限りである。

このやうに貯蓄実績が良好なため、昭和十五年年度全體の貯蓄増加額は百六十億を超え、大體所期の成績を挙げ得たものと思はれる。支那事變發生以來本年三月までの貯蓄増加の總額を見ると約五百億圓に上るのである。

本年度の貯蓄増加目標額は二百三十億圓であつて、昨年度の実績に比べて約七十億圓の増加であり、その實現のためには更に一般の努力を要するが、國民貯蓄の増加が所期の成績を擧げる限り、戦費は完全に調達され、惡性インフレーションの憂は毫末もないのである。

金融體制の整備強化 國內金融政策の第二の要諦は、蓄積された資金の配分を適正ならしめることである。即ち戦争目的の遂行に必要なる方面へは資金を完全に供給し、必要でない方面への資金の流入は抑止することが肝要である。このためにさきに金融統制團體を設立して國內金融體制の整備強化を圖つたのである。また戦時下の特殊の金融上の要求に應ずる戦時金融庫も、四月末設立を終つた。時局下に緊要な船舶建造資金や造船機設備資金の融通

にはこの金庫に特に力を注がせる豫定である。

大東亞金融圏の構想

わが財政經濟の方針の基本は、大東亞戰爭を完勝し我が國を核心とする大東亞共榮圏の確立とその維持發展を圖り、進んで新世界經濟の建設に寄與するにあるが、これを實現するためには單に我が國だけでなく大東亞共榮圏全體の總力發揮に努めなければならぬ。

基本的理念 大東亞共榮圏を確立し、その維持發展を圖ることは共榮圏全體の一元的な使命である。即ちこれは圏内の諸邦や諸民族の個々の利益や便宜による一時的な共同目標ではなく、根本的なものであり、各地域に過ぎ性質のものである。従つて、我が國がその中核として指導的立場に立つて最も力を盡さねばならぬことはいふまでもないが、この一元普遍的な目的の達成については共榮圏内の各々が相共にこの崇高な共同目的を自覺し、これを達成するために財政經濟の部門においても各々、その分に應じて大いに協力する必要があるのである。圏内の全住民が苦と樂を併にし、奮闘努力をした後に始めて偉大な建設と萬民共榮の洋々たる前途が開けるのである。

共榮圏内各地の財政經濟上の施設は、この基本的構想に基づいて具現さるべきであつて、南方占領地の財政もこの趣旨によつて調整運営され、大東亞戰爭の完遂と大東亞共榮圏の確立發展のため、應能協力の實が擧げらるべきものと信ずる。

生産と物資の交流 圏内各地域の生産と物資の交流も、大東亞を双肩に擔ふ我が戰力の増強と今後の大建設と、圏内住民の生活確保とを目的として計画的に行はるべきことは勿論であつて、大東亞の金融方策がこれに即應して、資金の需要供給地域間の交流と決済とが、我が國を中心指導力とする新體制の下に行はるべきは當然である。

決済の方式 これがためには、圏内各地域の相互間の決済だけでなく、さらに進んでは圏内諸地域の圏外諸地域に對する決済も、総合的に日本圓によつて東京で行はるべきである。即ち圓が大東亞共榮圏の中心通貨となり、東京がその中心地點となるべきであつて、滿洲國と中華民國では既にこれを實行してゐる。

泰國の協力 さきごろ泰國がこの方針に協力し、日泰兩國間の決済を従來の金または米英貨による方法を一掃して日本圓によつて行ふことにしたが、泰國は更に進んで共榮圏内外の各地域に對する決済もこの方法によらうと、

日本銀行との間に必要な取極めをすることになつてゐる。日本銀行は、さきに國內的には國防國家體制に即應すると共に大東亞金融圏の中心機構たり得るやう改組を行つたが、この泰國との取極めによつてその第一歩を踏み出すことになるのである。

爲替相場 またさきごろ我が國と泰國との通貨の換算率が一対一と改訂されたが、これも大東亞戰爭の完遂と大東亞共榮圏の確立發展といふ綜合目的達成の見地から、物資、資金の交流を合理的に促進せしめようといふ趣旨からである。これまで國際的自由主義の下に、主として決済力の強弱によつて決定されてゐた爲替相場も、大東亞共榮圏の建設に際しては、各地域の計画的協力態勢を基調として新たな構想によつて決定さるべきであつて、この改訂もその現はれである。

金融中心の觀念 爲替相場が右の基調によつて決定されると同時に、大東亞金融圏の中心といふ觀念についても新たな構想が必要である。即ち過去においてロンドンやニューヨークが國際金融の中心だつたのは、國際的自由主義、國際的資本主義の下に決済力、資金力だけを根柢としたものであるが、わが國が大東亞金融圏の中心であるといふことの意義は、わが國を中心指導力として共榮圏内の全地

域が大東亞戰爭の完遂と大東亞共榮圏の確立發展のため、その總力を有機的に發揮せんとするところにある。従つて各種の金融上の施設は、この構想の下に調整按排さるべきものである。

占領地域の通貨金融 南方占領地域の通貨金融は、軍票と現地の在來通貨とが渾然一體をなして極めて圓滑に流通してゐるが、さらに南方開發金庫も三月末には設立を終り、本邦銀行の現地への復歸や進出も漸次實行され、全體の通貨金融態勢は漸々と整備し、これによつて施設の復舊、資源の開發、物資の蒐集交易等も漸次活潑にならうとしてゐる。

對外關係

滿華泰 日滿華及び泰の四國が完全に戰爭目的を一旦し、相互の國交がますます緊密の度を加へてゐることは、まことに力強く頼むべきである。

獨伊 歐洲では獨伊その他の諸友邦が共同の戰爭目的のために不撓不屈の健闘を續け、偉大な戰果を擧げてゐるが、帝國は大東亞戰爭の不斷の勝利を以てこれに呼應し、今後、全力を擧げて兩者の綜合戰果を擴充せんとするものであつて、作戰上の密接な連絡を圖り、盟邦相携へて新ら

しい世界の秩序を確立せんとするものである。

米 英 米英兩國は相次ぐ敗戦に、大東亞戦争をいはいはゆる人種戦であると拵げて宣傳してゐるが、正義の上に協力してゐる樞軸國の堂々たる結束が、陰險な米英の謀略的宣傳に微動だにしないものでないことは、すでに今日、世界周知の事實である。他民族の犠牲において自己の發展と安逸を圖る米英傳統の政策は今や全世界に暴露された。皇軍の果敢な進撃によつて潰掃されたビルマでは、皇軍の正義に基づき平和的指導の下に全地域のビルマ人が奮然として立ち、光榮ある獨立の機運を自ら促進してゐる。かくて英國のインド防衛の前進基地は悉く皇軍の占領するところとなり、インド人宿望の獨立の機會はまさに到来してゐる。

インド 帝國は米英の兵力がインドに残存する限り、これを徹底的に破砕せんとする牢乎たる決意を有する。これがため無辜のインド民衆に禍ひの及ぶこともやむを得ないところである。この際、インド民衆が一段の勇猛心を奮ひ起し、米英の勢力を驅逐して祖國獨立の實を全うせんとを期待するものである。

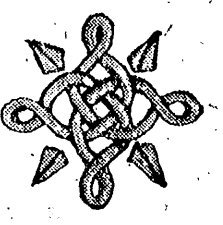
重慶 皇軍のビルマ既定に伴ひ、重慶政權は遂に獨立化して没落の一途を通つてゐる。在支皇軍の努力によつて歸順投降が續出し、重慶軍の戦意は日を逐つて低下してゐる。

る。自己の非なるを知つて悔めざる者の末路はかくの如く憐むべく、帝國は重慶政權の抗戦に對し斷乎最後の鐵槌を下さんとするものである。

濠洲 我が精銳なる陸海軍の作戦によつて西南太平洋は全く傾伏し、濠洲はいはゆる「太平洋の孤兒」となつた。殊に最近の珊瑚海海戦によつて濠洲防衛の海上勢力は減じ、皇軍の前に濠洲を守るものは今や何物もない。濠洲の指導者は、思をこゝに致し、國際情勢を洞察し、その地理的環境を考慮して、勇斷、速かに最も重大な舉措を決せんことを要望する。

香港、昭南島、比島その他大東亞の要域は、治安と秩序の回復に伴ひ、新建設國の據點となり、更生の巨歩を進め、太平洋、インド洋における我が海上権は日一日と擴大されてゐる。

今や帝國は、聖戰最後の勝利を確保し、世界に比類のない雄渾周密な作戦をますます果敢に進展せしめてゐるのである。われは勝つて兜の緒を締めて、舉國渾然一體いよく國家總力の充實向上を圖り、遂に皇國傳統の犧牲報國の精神を發揮し、速かに征戰目的を完遂し、以て聖慮を安んじ奉らねばならない。



戦時下の計畫造船

海務院

昨年十二月八日、大詔の渙發により、大東亞戦争の幕が切つて落されてから、こゝに僅々半歳に満たずして、皇軍の向ふところ敵なく、戦果は雄渾な規模の下に繰り擡げられ、西はインド洋を超えてセイロン島に及び、南は太平洋を壓して濠洲に達しようとする實に廣袤數千哩の水域と、これに包まれる大小幾多の島々と、そしてまた、これらが包蔵する幾多の貴重な資源、即ち錫、石油、鐵礦石、石炭、マンガン、タングステン、ボーキサイト、米、ゴム、マニラ麻等が我が勢力圏に入るやうになつたことは、まことに力強く、また

感激の極みであります。これ等の資源をそれ／＼活用して、その効用を發揮させ、また過去四百年の久しきに亘つて米英蘭の壓制下に呻吟してゐたアジア十億の民族を、その桎梏から解放して、そのところを得させ、わが帝國を中心とし全東亞共榮圏が一丸となつて、この大東亞戦争を戦ひ抜くことこそ、現在の私達に課せられた最も重要な任務であります。

海洋精神と、官民の緊密な協力とによつて明治初年以來、約七十年の間に極めてめざましい進展を遂げ、今日では、保有船腹量において、船舶の素質において、また、これを運営する海運業者と船員の手腕、技術において、押しも押されぬ世界一流の大航海運國としての諸要件を完備するに至つてをりますが、現下の大東亞戦争下におきましては、何としても軍事上の特別任務に所要の船舶を提供してゐる一方、戦争遂行に必要な重要物資の輸送に多量の船腹を要することは勿論のこと、廣大な大東亞共榮圏の水域を控へて、

建設戦を左右する船腹

わが國の海運は、祖先傳來の國民的

各地域間の貨物の輸送を確保するためには、船腹は幾らあつても十分ではない状況であります。この戦争を戦ひ抜き、大東亞共榮圏を確立するために、一千五百万トンの、或ひは二千万トンの船舶が必要であるといはれてゐます。

これらの数字は海運の伸び行く目途、即ち國運進展の段階を示唆してゐるものでありまして、あらゆる方途を講じ、あらゆる手段を盡して、所要の數量を確保し、大東亞戦争の完遂と大東亞共榮圏の建設に邁進せねばなりません。今日における最も重要な問題は、もはや資源の不足ではなく、むしろ交通運輸の整備如何にあるのであつて、船腹の擴充その他輸送力の増強こそは、戦争遂行上の絶対要件として特に力を用ひねばならぬところであります。

(計畫造船の内容)

そこで政府では、この具體的な方針として豫てから運航能力の向上を圖る一方、購入または備入によつて外國船舶の利用に意を用ひ、また拿捕船の利用、沈没船の引揚げ利用等にも努力し、相當の効果を収めてゐますが、これ等はその性質上、自から限度がありますので、最も確實な船腹の増強方策は、新造船の建設に全力を傾注するほかならぬことは當然でありまして、從來も船舶建設の促進に關しては特に格別の努力を拂つて來たのであります。

即ち船舶建設の資材につきまして、は、本年度物資動員計畫で特別の考慮を拂ひ、船舶部門に對しては、あらゆる部門に優先してその確保を圖つてをります。そして、この資材を最も有効適切に使用し、船舶の大量建設を確保するために、こゝにはゆる計畫造船が採り上げられたのであります。

度であります。

かやうに新しく定められた規格に應じ、船體、機關、部分品等の大量建造に便利すると共に、客船等の特別の場合のほかは、標準船型以外の船舶の建造は認めぬことにするのであります。

第二には造船所の分業であります。今まで造船所は各種の船舶を建造してゐたのですが、計畫造船をすることになりますと、わが國の全造船能力を最高度に活用できるやうに、各造船所に對して建造すべき船型を特定し、専門的に連続して同一種類の船舶を大量建造させるのであります。

第三に船舶の注文についての措置であります。海運の統制が強化され、低物價政策に順應して、運賃、備船料は釘附にされてゐる上に、船舶の運航は船舶運營會に一元化されてゐますが、他方、造船船價は資材、勞力等の關係か

ら相當に昂騰しないわけにはゆかない状態です。運航方面から見ますと、新造船では、採算上困難となる可能性があらりますが、政府としては低物價政策堅持の建前上、運賃、備船料を引上げるわけにはゆかないのであります。

この困難が解決されなければ、標準船型を定めまして、造船所の分業を行ひましても、船舶の大量建設は望まれないのであります。

第四に造船所の設備と船舶用機關、機件品等の製造設備の新設擴充が要請されるのですが、これまた多量の資材と多額の資本を固定せねばならない大事業であります。

以上に述べました計畫造船の遂行に伴ふ難點を解決するため、政府では去る五月十二日の閣議で計畫造船の實施確保に關する根本方針を決定し、國家の全力を擧げてこれが完遂に邁進することになつたのであります。即ち

「標準型船舶の計畫數量を一定期間内に確保するため、産業設備營團をして政府の強力な援助の下に標準型船舶の建造の注文ならびに造船・造機施設の擴充の實施に當らせる」のであります。

その方針に基づきまして、今度の第八十帝國議會で協賛を經まして産業設備營團法が改正されたのであります。

(産業設備營團との關係)

産業設備營團は、昨年十一月の第十七議會を通過しました産業設備營團法による特別の法人でありまして、戦時に際し軍需産業、生産擴充計畫産業その他の國家緊要産業の設備であつて、事業の建設または維持するのが非常に困難なもの施設し、また、いはゆる未動遊休設備の活用を圖ることを目的として設立されたものであります。が、計畫造船の實施には、この營團を

利用することになり、これに必要な産業設備備蓄法の改正を行つたわけであり、即ち營團の業務として

(イ) 標準型船舶 船舶用機関および機装品の製造の注文

(ロ) 右の船舶 船舶用機関および機装品の製造その他の處理

(ハ) 造船設備施設の新設擴充およびこれら施設の貸付買渡その他の處理

の事項が新たに加はるわけであり、即ち今後は、注文者が決定したものを除き、標準型船舶の建造は、すべて産業設備備蓄團に一括注文させる方針をとりました。即ち従来の造船契約は、造船所が船主から船舶建造の注文を受けた後、これに要する資材、機関、機装品等を自ら製造し、或いは外部に注文してゐたのでありますが、わが國の造船設備、機装品製造等の能力を最高度に活用するには、いろいろな原因で未だ注文主が特定しない場合でも、政府の

計畫に基づいて定められた船舶の建造は、遅滞なく實行する必要があり、また未だ備附すべき船舶が特定しない場合でも、船舶用機関、機装品等を注文し、船體と機関とを分離して製造契約をすべき場合も考慮する必要がありますので、従来のやうな造船所と船主との間の個別的な造船契約によつては處理できないことが明らかでありますから、適當な國策的機関に特殊の措置を執らせる必要が生じたわけですから、

そこで、政府では産業設備備蓄團に政府が樹てた造船計畫に基づいて標準型船舶の一括注文をさせ、建造した船舶は、原則として海運業者に賣渡し、また特別の事情で必要な場合には、營團が自ら保有して海運業者に貸付けさせることにし、また一面、造船、造機施設の擴充にも政府が定めた政策に基づいて新設擴充の實施に當り、建設した設備は、状況に応じて造船業者に賣

渡しまたは貸付けることにしました。また一旦、營團で注文したものは、船舶の建造中とか機関等の製造中の場合でも、計畫造船の遂行を確保するのに適當な買主、即ち船舶については船主に、機関については造船所に營團から肩代りさせることも考へてをります。

營團では、この船舶を政府で決定する價格を基準として政府で決定する豫定船主に賣渡すのであります。この際、前述のやうに建造價格は船主の採算が困難となる場合が多いので、産業設備備蓄團としては損をして賣渡すことを考へねばなりません。この場合に營團の損失は、政府で補償することにしました。また營團は、以上の業務を實施するために極めて多額の資金を要するわけですが、政府はこの調達には全面的な援助をするために産業設備債券の發行限度を、今まで拂込資本金額の五倍た

つたの十倍とし、また戦時金融庫庫の活用によつて十分の措置を講ずる等とも考慮してゐます。

これらの産業設備備蓄團の業務は、いづれも國家的な重要政策の實施に關するもので、本營團の使命はいよいよ重きを加へるわけですから、政府では同營團に對し、その職員を公務員とする等、十分に監督指導を行ふことにしました。

計畫造船達成の諸態勢

次に、産業設備備蓄團が注文した船舶は、これを海運業者に賣渡すのですが、この買受のため、或いは海運業者の手持資金の窮乏等を慮りまして、今議會の協賛を経て船舶建造融資補給及び損失補償法を改正し、いままでも船舶建造のためにのみ低利資金の供給の便が計られてをりましたが、さらに標準型船舶の買受に要する資金にも供給する途を拓く等の措置が講ぜられること

になりました。

今日、船舶擴充の重要なことは言を俟たぬところでありまして、目下、各般の施策は計畫造船に集中されてゐる状況であります。政府では、昨年末に海軍行政機構を整備強化しまして、中央に海務院、地方に海務局を設置したのであります。それと共に今まで海軍艦船の建造と一般商船の建造とが、必ずしも一體として行はれてゐなかつたので、その間の調整を行ふために過般勅令を制定しまして、逓信大臣の権限に屬してゐた船舶建造と修繕のため

の主要資材の需給の調整に關する事務、および海運管理工場における船舶と船舶修繕に關する監督事務の権限を海軍大臣に移しました。

また五月十五日に公布されました國家總動員法に基づく改正海運統制令で「逓信大臣ハ海運關係事業者ニ對シ規格ヲ指定シタ船舶等ノ製造ヲ命ジ

若ハ範圍ヲ指定シテ船舶等ノ修繕ヲ命ジ指定シタル規格若ハ範圍以外ノ船舶等ノ製造若ハ修繕ヲ制限シ若ハ廢止シ又ハ船舶等ノ製造若ハ修繕ニ付順位ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得」(第七條)

と規定し、計畫造船の法的根據を定め、また重要産業團體令に基づき造船統制會を設立し、造船事業に關する民間組織を整備しました。

そして、こゝにまた産業設備備蓄團によつて船舶等の建造注文を統括する等の措置を講じ、計畫造船に關する組織態勢が整つたわけであり、大東亞戰爭は漸く戦果を以て進展を續けてをります。計畫造船による大量船腹の建造の實施確保こそは、眞にこの勝利を決定的にし、この大東亞を皇國を盟主とするアジア十億の民族の眞に倚據すべき住家とする根柢であると信じます。

昭和十七年度の國民動員計畫について



院 畫 企

勞務動員計畫は昭和十四年度から國家總動員計畫の一環として設けられて来たが、臨戦態勢の整備と高度國防國家の建設の必要上、昨年度の計畫からはその動員範圍が擴大されて、いはゆる勞務者だけの動員ではなくて、實質的には勤勞し得る國民大多數の動員となつて来たのである。

昭和十七年度の動員計畫は、大東亞戰爭勃發の第二段階に即應して、戰爭遂行力の確保増強を圖るため計畫範圍が更に擴大されたのと、名稱の上でも國民皆勤勞態勢を明確にしておく必要があること、従來の「勞務動員」の

名稱を本年度から「國民動員」と改めることとし、すでに決定された物資動員計畫、生産擴充計畫等の他の總動員計畫に照應して慎重考慮検討を重ねて来たところ、去る五月二十六日の閣議で正式決定をみるに至つたので、ここにその概要を述べよう。

戦争下の勞務情勢

支那事變發生以來わが國內勞務の需給關係は、次第に不均衡を示すやうになつて来たが、昨年六月の獨ソ開戦を契機として我が國をめぐる國際情勢は更に激變し、これに對處する軍需の充

足とその他の生産の増強に伴ひ勞務需要の急激な増加を來し、その充足のためいろいろの工夫を必要とするやうになつた。そこで政府では時局に對處する勞務緊急對策を決定し、これに基づいて國民職業能力申告令や國民徵用令の改正をしたほか、勞務調整令や重要事業場勞務管理令の實施、學校卒業期の繰上げ等いろいろの措置を講じて来たが、新規法令の實施が漸く昨年十二月以後となつた事情もあり、昭和十六年度の勞務動員計畫の實績は、遺憾ながら良好といふ程度には至らなかつた。ところが大東亞戰爭の勃發によつて

勞務問題はいよいよ重大さを加へて来た。内においては戰爭遂行のための直接軍需の充足のためだけでなく、その他の重要物資の飛躍的増産を必要とし、外においては皇軍の赫々たる戦果によつて、いまや廣大な地域に亘つて作戦と建設の歴史的大事業は輝かしい歩みを進めてゐる。これら内外における國家の要請する勞務者その他の要員は、多々益々辯ずるわけで、昭和十七年度の新規需要だけでも尤大な數に上るにもかゝらず、供給は漸次窮乏となり、緊要不可欠の要員すら充足することとは容易なことではなく、人不足は一段と甚だしくなつて来たのである。

本計畫の設定方針

前述のやうな勞務事情にあるので、昭和十七年度國民動員計畫を編成するに當つては、大東亞戰爭遂行力の確保増強を目ざしたのは固より當然である

が、この根本目標の下に採つた主な設定方針は左の諸點である。

(一) 各種の總動員計畫に照應して、重要業務の要員の充足と勤勞總力の最高度發揮を圖ること

本年度のいづれも總動員計畫は、すべて戰爭遂行力の確保増強を目ざして國家の總力を集中動員することになつてゐるから、目標を同じにする國民動員計畫は、他の總動員計畫に照應することは當然のことである。そして國民動員計畫の使命とする重要業務の要員の充足を圖ると共に、本年度は要員の量的配置のほかに質的増強、特に能率増進に重點を置いて勤勞總力を最高度に發揮することにした。もとより工場・事業場によつては經營者を始め工場・事業場等の現場責任者の工夫努力で既に驚くべき生産能率を擧げてゐる所もあるが、中には能率が漸次低下してゐるやうに見受けられる所もないではない。大體において能率は決してよくなく、勞務の量的充足が十分でない

今日、このまゝでゆくことはまことに憂慮に堪へないので、能率増進の目標を定め、いろいろの施策を講じて實施する考へである。

(二) 將來に亘る國民職業の再編成をも考慮したこと

大東亞戰爭下においては軍需の充足、糧食の確保の重要なことは、いふまでもないところであつて、この目的を達するために、その前提となるいろいろの重要物資や船舶の生産擴充を圖らなければならないのであつて、これに必要な勞務要員の充足は不可欠の問題である。そしてこのやうな戦時下では、必要な重要産業は同時に大東亞戰爭の建設を圖る一面、防衛に任ずるための國防力の増強にもまた絕對必要である。従つてこれ等の重要産業の飛躍的發展は、同時に高度國防國家の建設を目標とする將來に亘る皇國民族の職業別人口の再配分、すなはち國民職業の再編成にも台致すべきものであるが、これ等の重要産

習の要員をどんな産業分野から勤員するか、つまり要員の供給源をどこに求めるかについては、はつきりした方針目標の下に行ふ必要がある。そこで國家として、將來に亘る全産業の再編成と、これに即應する國民職業の再配分に關する大體の方向を定め、年々の國民勤員計畫はこの方向に順應しながら當面の重要業務要員を充足することが必要である。

(三) 前年度同様、常時要員と臨時要員に區分したが、計畫の對照である業務と要員の範圍を擴大したこと

これまでの労働員計畫の對象である産業は、大別すると軍需産業、生産擴充計畫産業、同附帯産業、生活必需品産業、交通業と國防土木建築業の六種類であつたが、本年度は更に農業と水産業を加へた。生産擴充計畫産業は、第一期計畫を終つて本年度は第二期五年計畫の第一年度に當つて計畫品目が増加したほか、生需附帯産業と生活必需品産業等にも相當多數の品目を加へて生産要員の

確保を圖ることとした。また事務職員と大務要員については、これまでの増加の趨勢からこれを抑制すると共に、必要なものは最低限度の要員を確保する意味でこれを計畫に入れることとした。

(四) 需給計畫は給過逼迫の現状からみて需要を壓縮し、そのために生ずる要員の不足は勤勞能率の増進によつて補填すること

これまでの労働員計畫では、まづ需要を計つて供給を決定するいは、需要本位に計畫が立てられて来た感があつた。従つて時には供給にかなり無理が伴つたこともないではなかつたが、昭和十六年度を除いてはまた、需給關係はさほど窮屈でなかつたので、自然、勤員計畫の認定も比較的容易に進められて来た。昭和十六年度の需給關係は逼迫してゐたが、依然、需要を基礎として編成したために供給にはかなり無理の数字があつたので、本年度の供給は各給源毎に慎重に検討を加へ、一面では出来るだけ多數の供給を確保

すると共に、他面では國民皆勤勞の精神を具現する意味で、現に重要産業に従つてゐる者を除いて無業者、未就業者は勿論、廣く各産業従事者からも供出させることとして供給数の算定を行ひ、その供給数の範圍内で需要に對して重點的にそれぞれ適正な割當てをした。その結果、需者側の要求は相當削減を受けることになつたのはまことにやむを得ないことであつた。これ等の數的の不足は能率増進で補填するやういふ工夫をせよ、生産または業務の實効を擧げるやうに努めなければならぬ。

(五) 勞務配置の重點主義を徹底するため、各種重要産業について重要工場、事業場を選定し、これ等に對してはそれ〴〵具體的な勞務實施計畫を樹てさせ、これに基づいて勞務の優先的充足を行ふこと

勞務の重點主義的充足といふことは、勞務員計畫の實施以來、程度の差こそあれ採り來つた方針であるが、未だ十分と

はいひ得なかつた。本年度から勞務配置の重點化を徹底する方法として軍需産業擴充、生活必需品、交通等の各計畫産業中から重要工場、事業場、即ち勞務充足の必要性からみて最も重要と認められるいはゆる第一種工場、事業場といふべきもの數千(作業場も含む)を選定し、これ等の工場、事業場は、それ〴〵具體的な勞務の實施計畫を樹て、勞務調整令の運用等によつて必要な要員の優先的充足を行ふこととして重要産業の勞務要員を確保するに努めた。

(六) 微用の迅速適正を期するため、微用計畫、特に技能者については、工場・事業場別、個人別計畫を確立すること

國民微用令に基づく微用は、昭和十四年度から實施され、漸次微用工場の範圍も擴大され、被微用者の數も多くなつて来たが、今後も増加すると見做すことはいものと考えられる。従つて國民微用が、円滑適正に行はれるかどうかは、國民勤

員の成否に影響するところが少くない。技能者すなはち熟練工は特に必要性が多いので、時局轉、重要な工場、事業場で技能者の充足のために他から微用でもしなければならぬものを除き、工場・事業場別に一なるべく生産能率に影響をなし、また緊要性の少ないものは多少能率は低下してもやむを得ない場合もあるが、全技能者のうち何人位微用できるか、何を微用するのが適當かを十分調査研究して技能者微用計畫を作成して置くことにした。

(七) 中小商工業者からの職業轉換者は、企業整備の促進に伴つて活用し遺憾なきを期すこと

物資勤員計畫の實施に伴ふ離職者或ひは商工業者からの職業轉換者には、昭和十四年度勞務勤員計畫の設置以來、年々重要な勞務給源として計畫して来たが、時局の段階に應じて勞務需給關係が窮屈となるに從ひ、職業轉換者の勞務給源としての重要性はますます加はるに至つた。そこ

で、政府でも昭和十五年十月の中小商工業者に對する對策と、十六年八月の勞務緊急對策中勞務給源確保のための職業轉換促進對策を決定し、職業轉換の指導に努めて来たが、大東亞戰爭の勃發によつて急速にこの問題を解決する必要が起つたのは、關係各層が一體となつていろいろ具體的な措置を講じてゐることはすでに週報、新聞紙上の發表等によつて周知のところである。本年度の計畫では、すでに決定した政府の方針と今後の施策等を考慮に入れて相當多數の職業轉換者を豫定し計畫したのであつて、本年度の國民勤員計畫實施の成否は、一に懸つて職業轉換が円滑に行はれるかどうかにあるといつても過言でないであつて、今後さらに必要な具體的方策をも講じ、中央、地方官民一體となつて職業轉換の促進と轉換者の活用に遺憾なきを期す者へである。

(八) 女子は、未婚女子を主たる對象として勤員を強化し、特に事務職員と公務要員は出来るだけ女子を以て

男子に代替させたこと

國民動員計畫における女子の活用方法
は、本年度も大體、昨年度と同様である
が、警察消防官吏を除く公務員は、こ
れまで男子の従事した業務の分野にも出
来るだけ女子を充當する方針を採ること
にし、事務職員などは男子より女子を多
く豫定した。

(九) 新規國民學校修了者と新規中等
學校卒業者の給源を確保するため、
不急と認められる學校、殊にいはゆる
各種學校等に對し、制限または收
容定員の抑制等の措置を講ずること
國民動員計畫の極めて的確な供給源とし
て、右の學校修了者と卒業者の重要なこ
とはいふまでもないことであつて、國民
動員が期待するところは、今後ますます
大きい。ところが教育の發達と知識欲の
向上とは、上級學校への進學者を激増さ
せ、人口の漸増にもかゝらず、新規國
民學校修了者と新規中等學校卒業者で就
職線に立つ者は必ずしも増加しない現

状にある。この現象は一見慶ばしいやう
にもみえるが、よく検討すると相當考へ
なければならぬものがある。教育の向
上の必要は否定する者はあるべき筈はな
いが、わが國の學校の種類と學生生徒の
數等の現状は、必ずしも國家の要請に副
ふとはいひ難い。特に今日濫設の傾向あ
る各種學校の中には、不急と認められる
ものや、學校としての實の備はつてゐな
いものも少なくない。このやうな見地で緊
要性の低い學校や、學校の實の備はらな
いものの新設を抑制するのは勿論、進ん
で整理もする。またこのやうな學校に對
しては、收容定員の増加を認めないこと
はいふまでもなく、一定以上の入學許可
を取締るほか、進んで定員の減少をも圖
ることが必要である。

(十) 滿洲開拓民、滿洲開拓青少年義
勇軍は、滿洲開拓第二期五ヶ年計畫
に基づき實行可能な限度で努めて供
出を圖ること
滿洲開拓計畫は、すでに國策として大

規模な開拓民の送付計畫が確立してゐる
が、その實行計畫ともいふべき第一期五
ヶ年計畫を終り、さらに第二期五ヶ年計
畫の決定を見、昭和十七年度はその第一
年に相當するのと、國防の第一線として滿
洲開拓の重要性を考へ、國內における勞
務給源と脱み合せて實行可能な限度で努
めて多數の供出を圖つた。

(十一) 南方占領地における要員は原
則として現地調達とし、必要な指導
者の送付を考慮すること
大東亞戰爭勃發以來、皇軍の赫々たる戰
果によつて廣大な南方地域は我が支配
下に歸し、これ等の地方の資源の開發、經
濟建設は着々と進行中であつて多數の勞
務者を要するが、一般の勞務者は原則と
して現地の住民で賄ふことにしてゐる。
しかし技術者、事務職員等の指導者階級
の者は、わが國內から送付することにな
るが、具體的の計畫は事態の推移をに
らんで別に計畫することにした。

(十二) 臨時要員には、一般國民と學

生生徒からできるだけ多數を供出し
臨時的または季節的の重要産業要員
で豫じめ推定できるもの及び警備要
員等の需要に充當すること

臨時要員として一般國民の動員は、現
在重要産業に従つてゐる者を除き、各産
業に従つてゐる者を、本業に従ふ傍ら勞
務の簡減を圖つて他の重要産業へ卒仕さ
せることを建前としてゐるので、できるだ
け多數を動員し需要の充足を圖ること
國民皆勤勞の趣旨を徹底することの二つ
の目的から學生生徒も同趣旨に基づいて
できるだけ多數の動員を計畫した。そし
てこの需給の調整は、主として國民動勞
總協助力令の活用によつて行つた。

需給計畫の概要

このやうな方針で編成した本年度計
畫の總數は、臨時要員においては一般
勞務者、事務職員と公務員の新規需
要増加と減耗補充要員(老年、女子の給與等

勞務者に從事する)を合算し、外地要員をも
加へ前年度より減少してゐる。し
かし前に述べたやうに、本年度は新た
に農業、水産業の減耗補充要員、事
務職員、公務員等を加へたので、
前年度と同一枠内で比較すると相當多
數の實質的な減少となるわけである。

このやうな結果を生じたことは、眞
に需要の減少によるのではなく、供給
數の關係から需要を壓縮したためだ
である。従つて本計畫における新規増加
要員も各産業部面において前年度より
數的には相當の削減を蒙つたのであつ
て、重要産業部面では要員の絶対數が
減少したのでないことはいふまでもな
い。

次に臨時要員においては、特に國
民皆勤勞の徹底を圖ると共に需要をで
きるだけ充足する方針をとつたが、需
要が極めて甚大だつたために、勢ひ供
給力の範圍で賄ふほかは、要求に對

してはかなり多く削減したが、昨年に
比較すれば二倍以上の延人員の動員を
行ひ、本業に従事する傍ら他の重要業
務に協力して賄ふこととした。

以上のやうに、臨時要員は昨年度に
比較して増加してゐるが、勞務要員の
中樞である常時要員の量的不足は免
かれなるところであつて、他の産業、
殊に時局柄緊要性の低い産業では勞務
不足はかなりひどいこととならう。

それでは、この不足をどうするかと
いふと、本計畫では勤勞率の増進に
よつて補填することにした。支那事變
以來、勞務の需給關係の不均衡から自然
勞務者の質的低下を生じたことも、また
やむを得ないが、すでに大東亞戰爭の
遂行中であり、この戦ひに勝つために
は、石にかぎりついても必要な物資を
生産しなければならぬ。すでに述べ
たやうに、勞務者の數に限度がある以
上、事業主も、職場擔當者も、勞務者

も一體となつて、報酬觀念や打算觀念を一掃して、眞に國家に對する奉公精神に基づく勤勞の理念を確立すると共に、

に、勞務管理その他いろいろの工夫によつて能率を増進して、できるだけ要員の節減を圖り、量的不足は質的増強、

で補填する意氣込みで勤勞總力發揮に邁進せられたい。

昭和十七年における普通蠶掛、解符格による掛日差は昨年大いに増産の實を擧げ、八千万、んが、本年は内需向適品の重點種、繭及び生糸の價格が去る五同様、一掛であります。本年、實の生産目標に到達するやう努力、生産と配給の円滑を期するた月二十日及び二十三日に告示に、は繭檢定規則の改正に伴ひまし、力して戴くことを期待してゐま

ります。以下その要點を列、實質上〇・五掛の格上になす。

普通蠶種

價格そのものは昨年と同様ですが、

〇・五掛の格上げ、製糸家の繭入と賣渡を行ふことになりまし、合に限り買入れることになりま

元は昨年同様となります。この、たので、統制會社の價格中に玉繭に生産することが出来なくなつ

は、すべて統制會社の注文の場

告知等

日本種母體の部に新品種日一五號(麴)を加へ、日一四號は特殊事情により歐羅巴種母體の價格によることになりました。

蠶糸の價格が改正されました

なほ乙檢査一等格の優秀品は特一等格として格上を認めたと、玉繭の細織度のものを買入價格を普通生糸との調整上、或る程度引下げたこと等が改正の要點です。

繭 標準物である糸質格、解符格共に三等のものを買入價

の取扱は昨年と比し實質上二、三割の増収になります。そこ、檢査白二十一中D格に削減すべ

き格差は、昨年と大差ありません。

生糸 標準物である甲、正の要點です。

は、か日本蠶糸統制株式會社から、繭一貫につき二十錢の生産奨励金を交付しますので、養蠶家、年と同様です。

繭 標準物である糸質格、解符格共に三等のものを買入價

の取扱は昨年と比し實質上二、三割の増収になります。そこ、檢査白二十一中D格に削減すべ

き格差は、昨年と大差ありません。



クリップス英特使の引揚げ以來、インド地元の動きは、各方面から極めて注目されてゐたが、五月初めのインド國民會議黨委員會は、遂に「英國を援助せず、また他のインド侵入者に對しても暴力によらぬ非協調の態度を採る」旨の決議を壓倒的多数で採擇、さらに五月中旬に至りガンデーは、「英國がインドに蠶踏することこそ日本のインド侵入を誘發するものである」として、英國軍のインドよりの即時完全引揚げを要求する公開狀を發表し、かくて、かねて英國に對する非

交戦地位の承認ならびに日本に對するゲリラ戰の展開を是として來たネールの主張は影をひそめ、こゝに再びガンデーが國民會議黨を指導する大勢となつた。

しかしながら、國民會議黨の壓倒的な對英非援助を自體が、直ちに全面的な對日協力を意味するまでには、まだ可成りの距離を残してゐることも否めず、「英國の搾取や壓迫に反抗するインドの同胞達」といふ考へ方のみで律するには、現代インドの社會なり政情なりは、餘りに複雑多岐と評せざるを得ない。

インドの實相

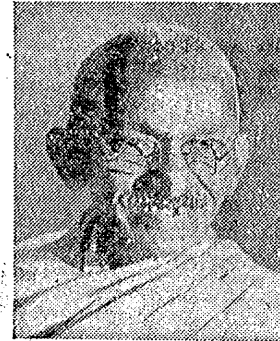
インド、正式に「ハバ」インド帝國は、英國の國王がインド皇帝を兼ねて來たが、その廣さ日本全土の約六倍、去年三月末の人口總數三億八千九百萬、とだけ述べれば極めて分り易い國土のやうでもある。けれども、從來われわれが單にインドと呼んでゐるものは全インドを意味せず、専ら英領インドの方だけを考へに入れてゐたものであり、その他に六

百有餘の大小貧富まち／＼なインド土侯諸國の存在してゐることを、まづはつきりと再認識して置く必要がある。即ち、英領インドは、主として海岸線と中部低地地帯とを占め、廣さにおいて全インドの五割五分、人口において四分の三を占めるに止まり、インド土侯諸國の方は、概して奥地地帯を形成し、世界的なインド物産の相當部分をこれらの地方が擔當し、その土侯達の内には世界有数の富豪が少くないのである。

また、全インド人は、人種の點からみて大略しても七指を屈し、從來われわれはインドの人といへば、黒いものと思ひ込んでゐたものの、そのうちには日本人より遙かに白い系統の人種さへも含まれてゐる。そして現在、全インドに使用されてゐる言葉に至つては、人種の多彩の比でなく、全インド人口の三分の一強に使用されてゐるヒンド

スター語(俗にインド語といふ)を始め、二百二十餘種といはれ、地方的に公認されてゐるものだけでも七十種ある。

これら人種や言語の相違より以上に、インドの國內對立を深刻にしてゐる宗教は、目ぼしいものだけでも六種



ガンジー

あり、まづインド教徒の各派が總計して全人口の六割八分を占め、ついで回教徒が二割二分、佛教徒が四分、その他キリスト教徒やシク教徒、各種原始教徒等となつてゐる。世上やゝもすれば、英國當局がイン

ド教徒と回教徒とを對立させ、以て統治繼續を容易にしてゐると通評され易いが、それは結果であつて原因ではない、と冷靜なインド土着の識者達は解してゐるやうである。先頃も、ガンデーは重ねて「回教徒とインド教徒との大同團結こそはインド獨立の先決條件である」と回教徒の擲手を力説した。

問題はたゞに、この印、回兩教徒の對立に止まらず、さらに一層さかのぼりインド教徒のみの社會内部が數千の副階級に分離されてをり、このインド教徒社會内部の諸階級階級の固執が、政治的インド獨立をあへて遅らせて來たことは、ガンデーも從來しばしば大聲を發してゐるところである。

國民會議黨

從來、インドの獨立運動といへば、直ちに國民會議黨を自體の運動とみら

れる程、インド政界における會議黨の地歩は強大であるが、その勢力範圍は未だ専ら英領インドの方にのみ限られ、とくに英領インド十一州のうち八州において過半の勢力を制するに止まり、他の三州においては回教徒勢力下に少數派として存在し、土侯諸國に對しては目ぼしい進出を告げるまでになつてゐない。

そして、國民會議黨の指導方針が十年一日の如く一貫して來たかといへば、強ちさうではなく、英國の輿論を脱して獨立を達成するといふ終局の目標は何ら變らないものの、その具體的に進んで來た道はまことに波瀾曲折を極めた。たとへば、第二次大戰の勃發以來のみの動きをみて、その評はあてはめられるもので、たえず漸進派と急進派との黨指導権をめぐる勢力の盛衰状態は、黨策にも逐一反映し、第二次大戰勃發以來、大東亞戰爭勃發當初まで

の二年餘の間に、ガンデーの如きも黨指導者に推されて、やがて敬遠され、再び指導者に仰がれるといふ場合で、同期間に非暴力反英不服従運動の實施を決断したかと思ふと、ほどなく義勇軍組織の宣言を行ひ、恰も暴力的抗争に突入するかの如き動きをみせ、やがて不服従運動を中止し、再び不服従運動の宣言をあへてし、ついでガンデーの指名による個別的な不服従運動に着手、そのうちに大東亞戰爭の勃發に直面したのである。

そして、十二月下旬、會議黨執行委員の多數はガンデーの意に反し、「世界戰爭の展開による新事態を考慮し、英國の戰爭遂行に對し會議黨は協力することとなつた」旨を決議すると共に、「インドは、自由獨立を獲た曉にのみ、自國の國防に積極的に従事できるものである」と力説かゝる微妙な黨勢を以て越年した。

皇軍進出の影響

しかるに、皇軍の神速なインド洋進出となり、また、ぐううちに、かつて英領インドの一州として自分達と一つ棟にあつたビルマの大半が、大東亞共榮團の建設に参加するといふ現實をみせつけられ、會議黨指導部の多數は、やや時局に對する認識を是正し、黨内一部の少數分子はともかくも、彼ら多數はクリップス特使の訪印暗躍に對しても容易に乗ぜられることなく、その後、上述の通り遂に對英非援助を決定して今日に及んだのである。

かやうに、昨今の國民會議黨の大勢は、徐々にではあるが刻一刻と「インド人のインド」を確立すべき態度を固めてゐる。しかしながら、黨内には未だネール一派の如き、英側の讓歩さへあれば、インドを抗戰焦土と化することもあへて辭せずとする人々や、セ

イロノ島寄りのマドラス州における會議黨支部一派や、ボンベイ州會議黨支部内の一部分子の如く、目先に迫る非常事態に備へよと主張し、暗に對英妥協をほめかす分子もあり、なほまた大東亞戦争の勃發直前から殊に強く彈壓されて来た黨内急進右派の滑勢



ルネ

力復活も傳へられる等、黨内情勢まつたく不動なりとは斷言し難い状態に置かれてゐる。

親英派の肚

つぎに、會議黨が「インドを打つて

一丸とする獨立」を目標としてゐるのに反し、「インドにおける回教徒の獨立的地位の確立」を先決問題とする回教徒聯盟は、世上傳へられる通り、果して心からの親英分子であらうか。元來、回教徒聯盟に限らず、インドにおける回教徒の諸派は、親英的な土侯達と反英的な會議黨（一部の國家主義的な回教徒を含んでゐるが大體にインド教徒の政派とみなされてゐる）との中間にさまよつてゐるもので、たとひインド在住の回教徒總數九千万とは號するもの、總人口四億に近いインドとしては、やはり一少数民族にすぎず、彼等に三倍する多數を擁して壓迫しかるインド教徒——會議黨勢力に對抗する方便上、やゝもすれば英國勢力を後楯として自己保全を計る場合も多く、そのため結果だけをみれば確かに親英派とも評されよう。

また、土侯諸國の土侯達も、現狀維

持、とりも直さず專制政治を行ひつづける自己保身の途と考へる建前から、對英協力を是とする大勢にある。故に、われ／＼として、すくなくとも大東亞共榮圈の建設といふ大きな仕事に乗り出した今日の日本人としては、彼ら諸土侯や回教徒達に對し、その親英振りの暗愚さを頭から非難する態度を一擲し、まづ何故に、彼ら諸土侯や回教徒達が親英陣に身を寄せなければならぬのか、といふことについて同情的理解を拂ふ程度の度量の廣大さを把握すべきものと痛感させられる。

英經濟の自殺

英國は、第二次大戦が始まるや、インドから黄麻・マンガン等の戦争資材を大量に求めてゐたが、英本土危機の切迫につれ、船舶不足の關係上、比較的距離の遠いインドから自由にはそれら物資を入手できなくなり、且つ、當

然に、インド洋方面における英領各地の所要軍需品の面倒も一々みてやれなくなり、急場凌ぎにそれらインド洋英領各地に必要な武器や彈藥の現地製造を指導奨励し、とくにインドにおいて積極的に着手させた。そして、さしあたり英國は、その目先のおかけを蒙つて来たが、かゝる切端つまつた行爲は、インドに對して刃物を與へたこともしりながら、期せずしてインド産業は軍需工業の貌において最近の二年間、急速に成長しつゝあり、恰も英國經濟がインド國內において自殺を行ふの恰好にあり、即ち、インドの獨立は政治的よりも、かゝる經濟部門より一步先んじて達成されつゝありとの見解が、かなり英側自身を憂鬱にしてゐる所以である。

る武力戰參加の方針を捨て、加ふるにインドにおける英軍の撤退を要望するに至り、眞の「インド人のインド」を實現し得べき第一歩を踏み出してゐる。しかしながら、理論の上ではともかく、現實の問題として、一般インドの人々の心理状態は、いろ／＼な點で英國文化と相當根深い關係を有してをり、會議黨の反英運動指導者達の中にすら、「英國の帝國主義的行爲はあくまで排撃するが、英國文化そのものまで敢へて排斥しようとするものではない」と明言してゐる人々も少なくなく、過古三百年の英國統治をめぐるこれらの影響を一擲し、即座に根こそぎして大東亞細に植ゑ替へることは極めて困難である。

即ち、われ／＼日本人としては、インドの人々に對し、毎日々々丹精を重ねつゝ決して無理することなく自然の梅雨どきによる移植を待つといふ、寛大かつ仁侠の心構へこそ、ます／＼必要となつて來てゐる所以である。

寫眞週報

六月三日發行

- ☆珊瑚海海戰、米艦隊サトウガの戦後その後
- ☆天長の佳節を謳く新生の日本人 (明治から)
- ☆マレーのサルタン帝國軍艦を見學 (明使から)
- ☆マレー、スマトラ管見(記者) 陸軍軍政新聞 砂田重政
- ☆祖國インドの解放へ
- ☆建設戦を徹く
- ☆佛印特輯
- ☆佛印で働く英兵の俘虜
- ☆輝く戦果にこたへよう(記者)
- ☆非常放出し實演
- ☆電波戦に活躍する目を夢に描いて 女子無線技術講習所(英機機)
- ☆北の海に戦ふソーラン節 樺太の機雷報告

冀中、冀南、浙東作戦

大本營陸軍報道部

大東亞戦争は支那事變の發展したもので、大東亞戦争は單に米英だけとの戦ひではない。重要との戦ひでもある。南方作戦における赫々たる皇軍の戦果に、動もすると大陸戦線における將兵の活動忘れ勝ちになるが、廣漠たる支那大陸において今なほ掃蕩作戦に、治安の維持確保に、不眠不休の努力を續けてゐる皇軍將兵のあることを忘れてはならぬ。

一 冀中作戦

北支全般の治安は、極めて堅實な歩みを擧げてゐるが、何分兵力に比し地

城が廣大なため鐵道沿線から離れた皇軍の手の及びかねる奥地には、今なほ敵の收買部隊や匪團や共產軍が蠢動してゐる。

これ等に對してわが第一線將兵は今日まで數知れぬ討伐作戦を行ひ、また各縣城に分散配備を行つて徹底的掃滅に努めて來たので、もはや表面に現はれ堂々と集團をなして横行するやうなものも極めて僅かとなつたが、その代りいはゆる地下に潜行し、巧妙な組織を作つて抗日勢力の回復維持、擴張に躍起となつてゐるのである。従つてこれを撃滅するには、不撓不屈の努

力が要求される。去る五月一日以來、河北省の中央地區即ち京漢線と津浦線との中間地區に行はれてゐる共產軍大別滅戦は正にその一例である。

冀中、冀南作戦の對象である敵は、共產第十八集團晋察冀邊區、冀中軍區、冀東は延安中央委員會北方分局、冀中軍區委員會で、延安の中央とは緊密な連繫を保つてゐる。この冀中軍區は、元東北軍萬福麟麾下の百二十九師一旅六百八十三團長であつた呂正操が勢力を得て、それが晋察冀邊區に從屬したわけである。

敵の兵力は約七千であるが、この冀中

軍區は第六から第十までの軍分區並びに同数の督察行政專員公署及び各級委員會で併置され、その下に各縣に遊撃隊組織、行政組織、黨組織が組立てられ、黨組織の地下細胞である小組まで組織網が張られてゐる。

このため民衆は諜報連絡、空室清野と、この組織の命ずるまゝに動かされてをり、わが討伐隊が行くと敵正規軍も遊撃隊も巧みな諜報網によつて、いち早く分散して民衆の中に隠れてしまふのである。

従つて剿共作戦には、我が方としても活潑な諜報活動によつて、詳細な敵狀を偵知することが肝要で、さらに剿共戦に力つては武力戦のみならず、經濟工作、文化工作を必要とし、特に新政權下の覺醒した剿共の闘士の活躍がなければならぬ。今回の作戦にはこれ等の要員も参加して活躍してゐる。冀中軍區共產軍は、河北省中部の廣

大な平原地方に蟠踞して新中國の施策を妨害し、かつその豊富な原料物資をもつて京漢線を隔て、北部太行山脈のいはゆる冀西軍區共產黨軍に對し補給の役割を果して來たものである。今回の作戦は徹底した剿共諸工作によつてこれを完全な清郷地區とすることを企圖してゐるのである。

特にこの地區は棉作地として北支において最も有望な可耕地であり、最近、石津運河（石門、天津）開鑿をはじめ、各種の増産計畫事業と大東亞區域經濟の構想の下における諸施策と相まつて、近き將來、東亞共榮圈内における一大棉作地として重要な地歩を占めることであらう。北支の奥地は既に炎暑の候、しかも特有の黄塵の吹きまくる時期である。

わが掃蕩部隊は周到な準備の下に、五月一日から行動を開始した。すなはちわが一部隊は、獻縣より上流衡水附

近に亘る滏陽河の線において、敵の東方に脱出するのを防止するとともに、一方、前夜半より行動を起した他の一部隊は、肅寧北方地區における敵を剿滅した上、さらに滏陽河北岸方面の共產軍を求めて掃蕩中である。

またこれに響應して京漢線方面より行動を開始したわが部隊は、安國、無極地區の掃蕩戦を實施中で、五月一日には安國西南方面において敵を包圍してゐる。

各方面において敵を撃破したわが部隊は、五月三日頃からこれ等敵の蟠踞地帯内に分散配備の姿勢に移り肅清戦を續行してゐる。敵は例の要領により二十乃至三十名の群に分れ、しかも便衣に着かへて潜伏してゐる。

わが軍はその後も肅正工作を続け、五月十一日には衡水北方において、敵第二軍分區の兵約千五百を包圍攻撃し、また他の一部隊は同日安平、角邱鎮方面にあつた第七軍分區の敵約二百を包圍し、これに大打撃を與へてゐる。

かくて敵はわが軍のため南北より概ね滹沱河の線に包圍壓縮され、漸次撃滅されてゐる。作戰開始以來五月十六日頃までの主な綜合戦果は次ぎの通りである。

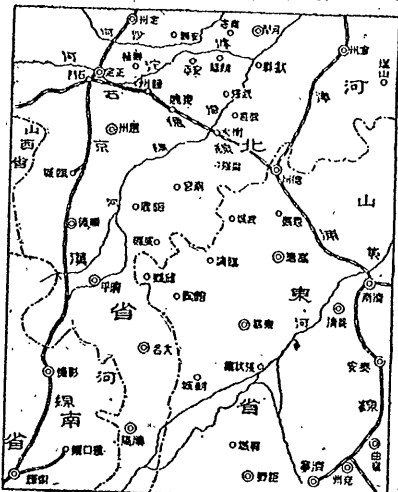
敵の遺棄死體約三千二百、俘虜約九千五百、小銃一千五百、迫撃砲五十、手榴彈約一万四千、被服約四万三千、着帽布、膠鞋、その他多数

敵はかく甚大な打撃を受けたにも拘はらず、樞要地點である關係上、あくまでもこれを確保せんと分散潜伏して執拗な抵抗を續けてゐる。しかしわが機ざる期共戦闘に、敵は漸次疲勞の

色がみえ始めるとある。各部隊は爾後分擔守備地域内を反復掃蕩中である。

二、冀南作戦

以上の冀中剿共作戦と同時に冀南地



區即ち冀強、武城、南宮方面（德州西方）及びその南方黄河北岸濮陽、朝城方面においては、冀南軍區共産軍及び高樹勳の率ゐる中央軍約七千五百の敵に對する捕提撃滅戦が去る四月二十

九日頃から行はれてゐる。

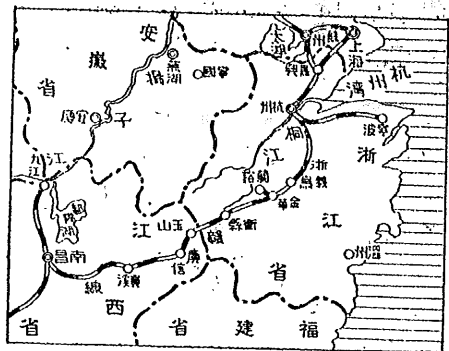
武城方面においては四月二十八日わが部隊は曲周方面より威縣、邱縣中間地區の新編第四旅及び同第七旅の一部約二千名の敵に對し包圍攻撃中であつたが、二十九日拂曉これを捕提して敵に大打撃を與へた。敵の遺棄死體六百、俘虜三百、小銃三千。

一方、南方においては、四月二十八日冀強方向及び鉅鹿方向より進撃したわが部隊は、敵新編第七旅を武城西北方地區に捕提包圍し、二十九日には武城西側地區において冀南軍分區司令部及び敵主力部隊を撃滅した（敵の遺棄死體約四百、俘虜約百七、小銃百七十七、その他）。

三、その他

山西省方面においてわが有力なる部隊は、五月十四日突如中條山脈の峻嶺

を突破し、沙河畔の共産軍根據地を撃破掃蕩して新編六旅、獨立一師に對し殲滅的な打撃を與へてゐる。



四、浙東作戦

ビルマ作戦により重慶唯一の海外ルートを通断し重慶抗日軍の抗戦力を一段と低下せしめた矢先き、支那大陸にお

けるわが派遣軍は、各方面において敵の撃滅戦に活躍奮闘し、敵を著々壓倒しつつある。中には浙東方面の作戦は規模極めて大なるものである。

浙江省東部地區の敵に對しては昨年四、五月の候わが軍は大掃蕩作戦を實施して、敵を撃破し、海外からの密輸入路を遮断してしまつた。その後わが軍の原駐地歸還により敵は再び浙東地區に侵入し、陣地を強化し抗戦を繼續してゐたのである。

敵は第三戰區顧祝同麾下の暫編第九軍、第十八軍並びに浙東守備軍等で約九ヶ師十方のものである。

この敵に對しわが新鋭の有力部隊は五月十五日拂曉を期し一齊に總攻撃を開始し、十九日以來潰亂敗走中の蕩軍を東陽江

の河畔において挟撃し、これに大打撃を與へ、引續き同地附近を掃蕩中である。わが陸軍航空部隊も連日地上各部隊の戦闘に密接に協力し、大きな戦果をあげてゐる。

東陽河南方の敵を撃退して進撃を續ける各兵團は敗走する敵を追撃中で、金華、蘭谿に對し攻撃を加へ、周邊の天險と既設陣地に據れる敵を包圍撃滅し、五月二十八日午前七時金華城を完全攻略した。

南方の陸軍綜合戦果

（開戦以來五月十六日まで）

俘虜	約二十九万人
撃滅せる敵飛行機	約千八百機
擄獲火砲	約三千五百門
小銃、機關銃、拳銃等	約三十万挺
戰車、自動車、鐵道車輛類	約四万五千輛
◇我が損害四月三十日まで	
戰死	將校以下約九千
戰傷	約二万名

果戦合綜軍海の來以戦開

飛行機	船	特設艦船	魚雷艇	掃海艇	潜水艦	特務艦	乙級巡洋艦	甲級巡洋艦	航空母艦	撃				沈没	大破	中破	拿捕	沈没	大破	中破
										米	英	蘭	米							
一六九隻(約九三四、〇〇〇噸)	一二九隻(約四八五、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)	一七隻(約一、〇〇〇噸)

大本營発表(五月二十六日) 開戦以來五月二十日までに判明せる帝國海軍の綜合戦果並びに我が方の損害左の如し

大東亞戦争日誌



自昭和十七年五月十一日 至同 五月二十五日

五月十一日(月)

陸海軍部隊に勅語を賜ふ
 ビルマおよびインド洋作戦を御嘉尚、寺内南方方面陸軍最高指揮官ならびに山本聯合艦隊司令長官に對し勅語を賜ふ
 高松宮殿下、南方戦線を御視察
 高松宮宣仁親王殿下には、五月二日スラバヤ、四日にはバリ島、八日にはボルネオ島バリックパパン、十一日にはコレヒドール島を御視察あらせられた

五月十四日(木)

大平大尉の偉勳、上院に達す
 偵察飛行中隊長としてビルマ進攻作戦に偉大な貢献をなし、二月二十二日、シタムン河上空において壯烈な戦死を遂げた大平忠夫大尉の拔擢の武功に對し、ビルマ方面陸軍航空部隊最高指揮官より感状を授與され、この旨、上院に達せられた旨、陸軍省發表

五月十五日(金)

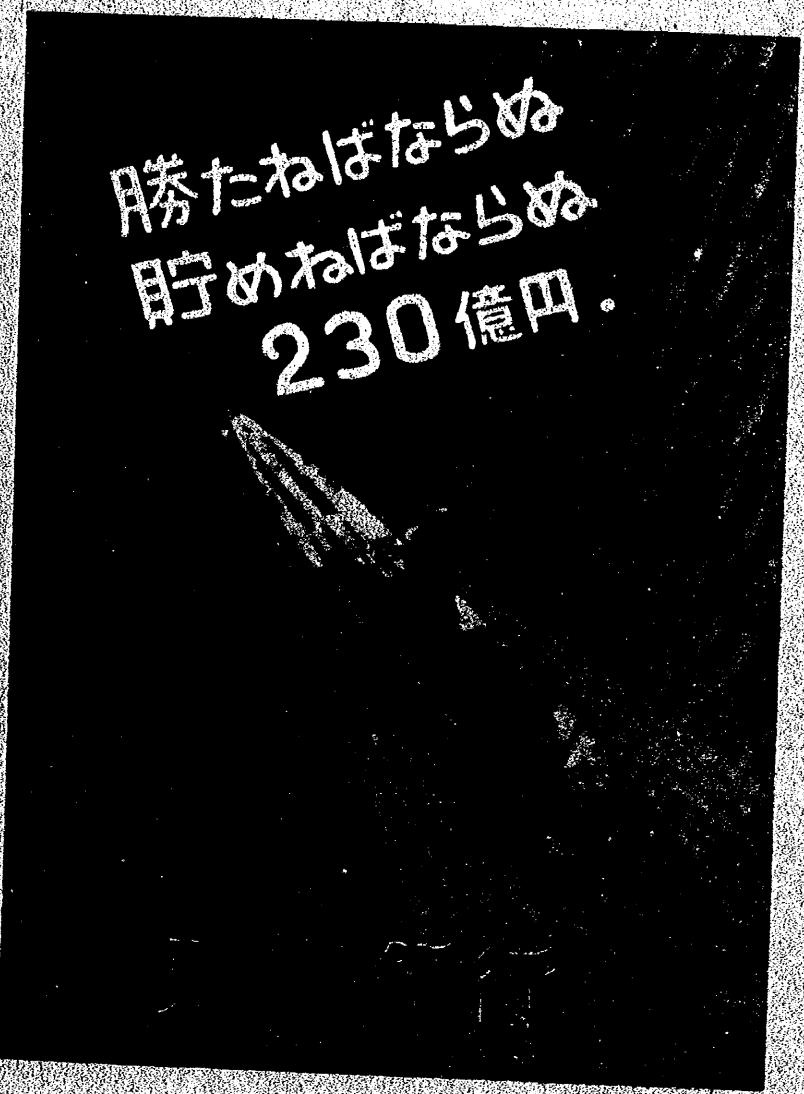
浙東作戦を展開
 中支軍は、新統の有力部隊をもつて浙東方面の暫編第九軍および第八十八軍に對し總攻撃を開始
 北支共産軍を捕提殲滅
 戦況を展開中の冀中作戦の五月一日以

五月十三日(水)

印緬國境で英軍主力を撃滅
 陸軍部隊は、カレワ(マンダレーの西北二百五十キリ、チンドウイン河の北)近で約二万の英軍主力を撃滅、さらに殘

五月二十五日(月)

來の戦果
 捕獲戦艦一、九二三、捕獲六、三八四、自製砲七六、輕砲一八七その他海軍用品多数
 海軍總司令部長官更迭
 前田総少將の後任として大本營海軍報道部長に小川賢大佐が就任
 珊瑚海の戦果、さらに擴大
 一、次ぎの通り追加發表した
 一、戦果中に米艦ノーリス・カロライナ型(三五、〇〇〇トン)一隻中破、米甲巡洋艦トランド型(九、八〇〇トン)二隻撃沈を追加
 二、同海戦において大損害を受けた艦型不詳の巡洋艦は、米甲巡洋艦ノーリス(九、〇五〇トン)と判明
 三、我が方の未歸還機三十一機の中、七機は無事歸還した
 四、空陸に敵を殲滅
 五、ビルマ方面に作戦中の陸軍航空部隊は、開戦以來の五ヶ月間に次ぎの戦果を挙げた
 一、敵飛行場攻撃延回数 百二十六回
 二、撃破飛行機 五百五十四機
 三、撃破自動車(自動車) 千二百十三輛
 四、撃破戦車(装甲車) 三百三十三輛
 五、撃破鐵道車輛 千五百四十三輛および百五十五列車
 六、撃沈破船船隻 九十三隻
 七、撃破軍庫施設 六百六十六ヶ所



勝たねばならぬ
貯めねばならぬ
230億円。

露光量違いにより重複撮影

通風塔

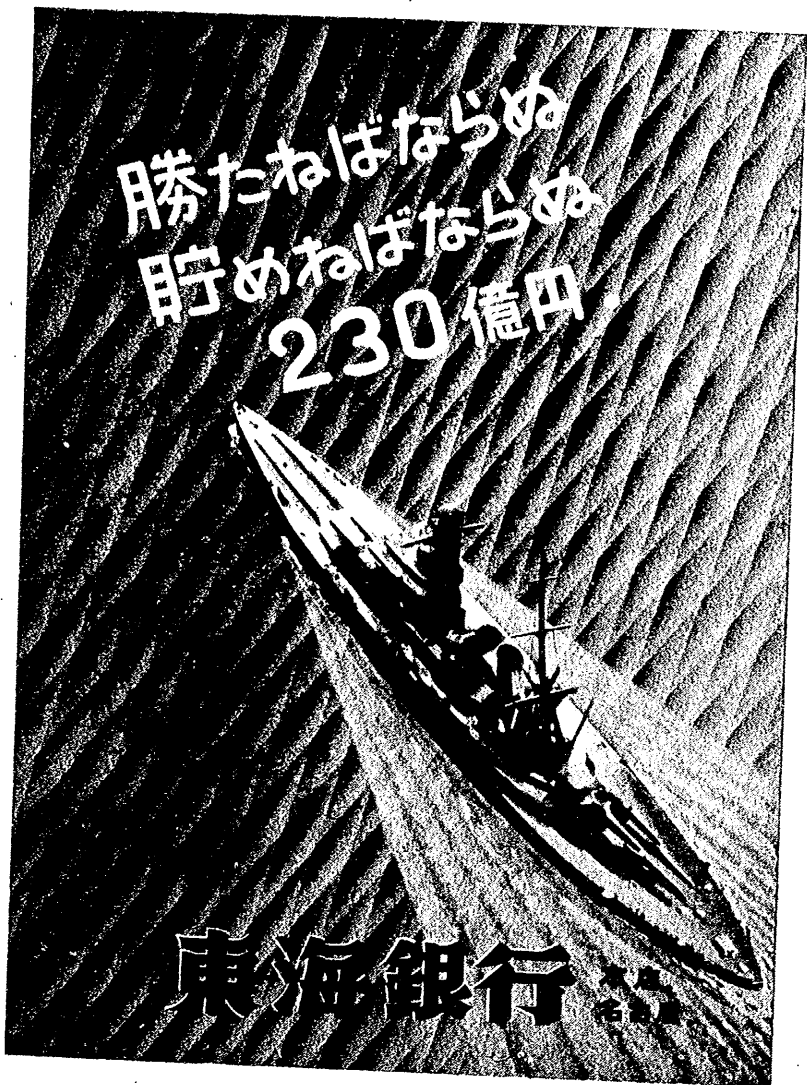
青年學校と一徒弟

私は町工場に働いて一徒弟です。せひ青年學校に行きたいと主人に頼んだのですが、「そんな所へ行くより、もつと仕事をしろ」と相手にして呉れません。大きな會社には私立學校があり、ない所は市立の青年學校へ通つてゐます。私は毎日十時四時働かされたが、私の買分は少しも聴いてくれない。どうしたら良いでせう。(名無しの一徒弟)

青年として必ず學ばねばならぬ學校といへます。とくに昭和十四年からは義務制となつて、満十二歳から概ね徴兵検査までの青年は、必ず青年學校に學ばねばならぬ。就學を怠ると義務違反になります。ですから、御主人によくお話しなさい。誠意を披露すれば御主人も諒解するでせう。

意味がない。直に米穀商組へ行つて米米の手配をし、製菓有限會社に掛合ひを開始した。戦艦の嬉しさはみんなを愉快にし、米穀商組は便米を、製菓有限會社は餅を、原價で出すことになり、製菓有限會社は工賃も要らぬといふよし、小賣商も勤勞奉仕だと決つて、大きなまんぢゅうが一箇四錢五厘で出来上り、これを大船渡町、盛町と附近の村に一人當り一箇宛くばつた。これは五月八日戦勝が發表されるや僅に一週間の間を置いて、十五日に行はれたが、儲かる仕事より張合があつたといふ。町村民殊に子供達よろこびたるや實に莫大であつた。商業報國會主催の慰勞會で製菓有限會社の人々のいふことには、「まんぢゅうが南方の海軍さんによれぬことが残念だ。」一地方の語だが嬉しい話である。(芳丘)

週報	昭和十七年六月三日發行
編輯者	東京市麹町一丁目一番地 内閣印刷局
發行所	東京市麹町區大手町
定價	一部 五錢(送料一錢) <small>(外國郵便に依る地域は送料共一圓十錢) ▲特別送附券の方は二部五錢(送料一錢)の割合を以て前金を送へ御注意下さい ▲特大號の場合は其の都度御持込金より送料を引受けます</small>
御注意	▲本誌より贈物の場合は必ず、圓形郵便印を貼ることを明記し、その種類を明記し、局宛郵便第三部御送り下さい ▲本誌の各種贈物は郵送に限り致し、御送付の御送付料を明記して下さい ▲本誌を他へお送りの場合は郵税一部一圓
所込申	全國各地官報販賣所 書店・新聞店・聯賣店



通

青年學校と
一徒弟

ひ青年學校に行きたいと主人に頼んだのですが、そんな所へ行くよりもつと仕事をしろ、と相手にして呉れません。大きな會社には私立學校があり、ない所は市立の青年學校へ通つてゐます。私は毎日十時開校、働かされながら、私の言分は少しも聞いてくれません。どうしたら良いでせう。(その二徒弟)

文部省の回答 青年學校は、青年に對して徹底的な鍛錬主義によつて、國體の本義を習得させ、生産の技能を練磨し、能力を増強し、軍事の基礎能力を領得させ、立派な日本青年を作り上げる學校ですから、大東亞戦下の今日、絶対に缺くことの出来ない、また日本

青年として必ず學ばねばならぬ學校といへます。とくに昭和十四年からは義務制となつて、満十二歳から概ね徴兵検査までの青年は、必ず青年學校に學ばねばならなくなり、就學を怠ると義務違反になります。この事から、御主人によくお話しなさい。誠意を披瀝すれば御主人も諒解するでせう。

なほ、その心解けないと思ひます。どうしてかと思ふに、市町村役場、公衆衛生、保健所の青年學校係に御相談下さい。最後に、働く青年の保護については、文部省としても十分に考へてゐることを申添へておきます。

戦捷さんちゆうの話

珊瑚海海戦の捷報リッパといふ歡呼の中で大船渡商會のA君の考へついた名案「お祝ひにまんちゆうを配らう」早いとこやらぬと

意味がない。直に米穀箱組へ行つて總案の手配をし、製菓有限會社に掛合ひを開始した。戰捷の嬉しさはみなを愉悅にし、米穀箱組は極楽を、製菓有限會社は酒を、原價を出すことになり、製菓有限會社は工賃も要らぬといふ。よし、小賣商も勤勞奉仕だと決つて、大さなまんちゆうが、筒四錢五厘で出来上り、これを大船渡町、盛明と雨沢の村に一人當り、筒四錢五厘、これは五月八日戰捷が發表されるや僅に一週間の間を置いて、十五日に行はれたが、儲かる仕事より懸合があつたといふ。町村民衆に子供達によるこびたるや實に莫大であつた。商業報國會主催の慰勞會で製菓有限會社の人々のいふことには、「まんちゆうが南方の海軍さんにやれぬことが残念だ」一地方の話だが嬉しい話である。(分五)

週報

昭和十七年六月三日發行

編輯部
東京市御台場
本町一丁目一番地
印刷部
東京市御台場大手町

定 價
一部 五錢(送料一錢)
(外國郵便に依る地域は別定)

所 送 申
全國各地官報販賣所
書店・新聞店・驛賣店

御 注 意
▲本誌より懸購の場合には必ず「週報」を何冊も購はしめて下さい。
▲本誌記事の無断転載は固く禁じます。
▲本誌記事に對する御希望や御意見は、御意見欄に記して下さい。
▲本誌へお送りの場合には宛先「第一編」

露光量違により重複撮影

編輯局報情

週報

號日十月六

政治の
新方向

國府の大東亞戰爭協力
臨時資金調整法の改正
海洋漁業の進路
赤ちやんの體力検査
新法幣體制の完成

296號

昭和十七年六月十一日第三種郵便物認可
昭和十七年六月十一日發行
(毎週一回水曜日發行)

五錢

週報は民翼の道しるべ

週

報

昭和十七年六月十一日第三種郵便物認可
昭和十七年六月十一日發行
(毎週一回水曜日發行)

内閣印刷局印刷發行

割増金附
郵便貯金切手

売出 六月八日カラ十五日マデ
價格 一枚二円
割増金 一等千円

賣切れぬうちに
お早く 郵便局へ

(判LA51格規定國はさき大の書本)